

平成 29 年 5 月 15 日

農 林 中 央 金 庫
株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
三 菱 U F J ニ コ ス 株 式 会 社

農林中央金庫と三菱 UFJ フィナンシャル・グループのリテール分野における 戦略的業務提携の強化・拡充について

農林中央金庫（代表理事理事長 ^{こうの よしお}河野 良雄、以下「農林中金」）、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{ひらの のぶゆき}平野 信行、以下「MUFG」）、および三菱 UFJ ニコス株式会社（代表取締役社長 ^{いのうえ はるお}井上 治夫、以下「MUN」）は、本日、平成 17 年 11 月締結のリテール分野における戦略的業務・資本提携について、さらなる業務提携の強化・拡充を行うことについて合意しましたのでお知らせいたします。

1. 戦略的業務提携の強化・拡充の趣旨

近年、金融機関を取り巻く環境は著しく変化しており、その変化のスピードは一段と加速しています。今後さらなる高齢化の進展・長寿化が見通される中でのライフスタイルの変化や、足元ではマイナス金利政策による超低金利状態の継続等により、個人のお客さまの金融に関するニーズは一層と多様化・高度化しております。一方で、ICT（情報通信技術）分野では、様々な潮流の浸透が加速しています。たとえば、様々な情報と身の周りのモノをインターネットで結ぶ「IoT（Internet of Things）」や、金融と最先端技術の融合である「FinTech」等が、次代へのイノベーションとして脚光を浴び続けています。

かかる状況の中、私ども金融機関にとりましては、最先端の技術動向等を着実に汲み取りながら、様々な角度でお客さまの金融ニーズに適時・適切にお応えしていくことが、重要な使命となっております。

平成 17 年 11 月に JA バンクが有する幅広い顧客基盤および拠点網と、MUFG グループが有する最先端の技術・商品力を一層活用していくことを目的として、農林中金と MUFG グループは、リテール分野における戦略的業務・資本提携を行いました。上記認識のもと、われわれは、さらなる業務提携の強化・拡充を行うことにいたしました。

JA バンクは、「食と農、地域社会へ貢献することにより、地域で一層必要とされる存在へ」と定め、良質で高度な金融サービスの提供を通じて「農業所得増大」と「地域活性化」への貢献を目指しております。また、MUFG グループは、世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループとして、リテール業務については、資産運用ビジネスと資産承継ビジネスを通じて、お客さまの「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進していくとともに、クレジットカードなどの決済ビジネスと、コンシューマーファイナンスを通じて、「個人消費の活性化」に貢献していくこととしております。今回の業務提携の強化・拡充は、両者のこれらの方針に基づく戦略的施策になります。

2. 業務提携の強化・拡充

(1) 農林中金と MUN 共同出資による新会社設立

①MUFG は、経営環境の変化に機動的かつ柔軟に対応し、より迅速にグループシナジーを追求出来る態勢へ移行することを目的とし、MUN の完全子会社化を実施したうえで、農林中金と MUN は、それぞれ 51%、49%の出資により JA グループ向けの JA カード事業を中核とした決済ソリューションにかかる企画業務等を担う新会社を設立します。

②MUN は、決済ソリューションにかかる最先端かつ高度なインフラ・ノウハウを整備、新会社はこれらを活用し、JA グループに特化したサービス展開を企画していきます。

(2) その他分野での業務提携強化・拡充

農林中金と MUFG は、上記のほかにも、これまで以上に広範囲な業務提携関係構築に向けて検討を進めていきます。

3. 資本提携の見直し

農林中金と MUN は、それぞれ新会社に 51%、49%を出資するとともに、農林中金が保有する MUN 株式 15%は、MUFG を完全親会社、MUN を完全子会社とする株式交換により、MUFG が取得することとなります。

4. スケジュール

今後、農林中金と MUFG グループは、平成 29 年 9 月末までに、新会社設立を中心に具体的な協議を進めて参ります。

以 上

<新会社の概要>

	内容
会社名	(仮称) JA カード株式会社
設立予定日	平成 29 年 10 月 1 日
株主 (出資比率)	農林中央金庫 (51%) 三菱 UFJ ニコス株式会社 (49%)
事業内容	JA カード事業を中核とした決済ソリューションにかかる企画業務全般、同マーケティング・販売促進の企画等
営業開始予定日	平成 30 年 1 月 1 日